

14時30分解禁

平成25年8月 全国百貨店売上高概況

平成25年9月20日

I. 概況

1. 売上高総額	4,291億円余
2. 前年同月比	2.7% (店舗数調整後/2か月ぶりプラス)
3. 調査対象百貨店	85社 242店 (平成25年7月対比±0店)
4. 総店舗面積	6,237,339㎡ (前年同月比:-0.7%)
5. 総従業員数	81,799人 (前年同月比:-3.5%)
6. 3か月移動平均値	1-3月 1.5%、2-4月 1.3%、3-5月 2.1%、 4-6月 3.1%、5-7月 2.1%、6-8月 2.2%

[参考] 平成24年8月の売上高増減率は-1.0% (店舗数調整後)

【8月売上の特徴】

2か月ぶりにプラスとなった。また、月毎の特殊要因(セール会期変動・休日増減等)を調整した6～8月の3か月移動平均値は2.2%となり、夏季商戦通期で見ても総じて好調であった。

今年8月は、全国的に記録的な猛暑となったことから、この時期主力の夏物衣料(衣料品:+1.9%)を中心に、UVコスメ(化粧品:+3.5%)・涼感寝具・日傘・サングラスなどの盛夏商材が活発な動きを見せたほか、ラグジュアリーブランド(身のまわり品:+4.5%)や宝飾品・高級時計(美・宝・貴:+18.3%)など高額商材も増勢を維持した。更には住宅需要の活況を背景とした家具(+5.8%)の高い伸びや、土曜日の前年比1日増などもプラス要素に加わったことにより、前月の不振から一転しプラス基調を回復する結果となった。

その他当月の特徴的な動向としては、地区別分類で見ると増床・改装効果のある東京(+5.6%)・名古屋(+9.5%)・大阪(+7.8%)など大都市が商況全体を牽引したこと、商品別分類では6月以来2か月ぶりに主要5品目が全て前年比プラスとなったこと、年初から拡大基調が続く訪日外国人は、円安やビザ緩和等の政策効果を背景に、東南アジアの急伸に加えて台湾・香港・韓国なども好調を続けており、売上・客数共大幅に増加(売上:+87.2%/客数:+77.1%)したこと、などが報告されている。

【要因】

(1) 天候 : 気象庁発表「8月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)

◇ 太平洋高気圧の勢力が南海上から西日本にかけて強かったため、気温は全国的に高く、東・西日本と沖縄・奄美ではかなり高かった。また、日本海側では湿った気流の影響を受けたため、局地的に非常に激しい雨が降った。

(2) 営業日数増減 30.6日(前年同月比±0.0日)

(3) 土・日・祝日の合計 9日(// +1日/土曜・1日増)

(4) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数133店舗)

①増加した:51店、②変化なし:36店、③減少した:46店

(5) 8月歳時記(旧暦お盆、夏休み、夏祭り)の売上(同上/有効回答数109店舗)

①増加した:30店、②変化なし:65店、③減少した:14店

NEWS LETTER

日本百貨店協会

全国百貨店 売上高速報 2013年08月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	429,101,329	100.0	2.7 (2.3)
10都市	285,903,699	66.6	4.6 (4.3)
札幌	11,411,332	2.7	4.0
仙台	5,936,214	1.4	-0.2
東京	104,137,438	24.3	5.6 (4.6)
横浜	25,210,768	5.9	3.7
名古屋	26,496,964	6.2	9.5
京都	17,099,953	4.0	0.1
大阪	60,143,781	14.0	7.8
神戸	11,355,626	2.6	-3.8
広島	9,698,414	2.3	-6.0
福岡	14,413,209	3.4	0.8
10都市以外の地区	143,197,630	33.4	-0.9 (-1.4)
北海道	2,415,879	0.6	0.9
東北	7,630,524	1.8	-0.3
関東	66,382,945	15.5	-0.5 (-1.1)
中部	11,131,647	2.6	-1.6
近畿	15,325,188	3.6	0.3
中国	10,246,626	2.4	-0.5 (-3.6)
四国	7,403,798	1.7	-0.8
九州	22,661,023	5.3	-3.2

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	429,101,329	100.0	2.7 (2.3)
紳士服・洋品	22,009,007	5.1	4.5 (4.1)
婦人服・洋品	84,640,675	19.7	1.3 (0.9)
子供服・洋品	8,725,778	2.0	3.3 (3.0)
その他衣料品	11,119,875	2.6	0.6 (0.2)
衣 料 品	126,495,335	29.5	1.9 (1.5)
身のまわり品	54,476,762	12.7	4.5 (4.3)
化粧品	26,083,411	6.1	3.5 (3.1)
美術・宝飾・貴金属	22,805,728	5.3	18.3 (17.5)
その他雑貨	18,705,518	4.4	5.1 (4.9)
雑 貨	67,594,657	15.8	8.5 (8.1)
家 具	6,295,134	1.5	5.8 (4.6)
家 電	1,142,759	0.3	-9.9 (-9.9)
その他家庭用品	14,647,586	3.4	0.9 (0.7)
家 庭 用 品	22,085,479	5.1	1.6 (1.2)
生 鮮 食 品	27,144,211	6.3	0.7 (0.4)
菓 子	37,058,782	8.6	0.2 (-0.2)
惣 菜	28,615,855	6.7	1.1 (0.8)
その他食料品	34,448,173	8.0	-1.2 (-1.6)
食 料 品	127,267,021	29.7	0.1 (-0.2)
食 堂 喫 茶	17,047,781	4.0	4.1 (3.4)
サ ー ビ ス	5,626,830	1.3	6.2 (6.1)
そ の 他	8,507,464	2.0	-3.9 (-5.4)
商 品 券	11,349,525	2.6	-9.1 (-9.4)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

- | | |
|------------------|--------------------------|
| 1. 10都市売上動向 | 4.6% (店舗数調整後/2か月ぶりプラス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | -0.9% (店舗数調整後/2か月連続マイナス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	4.6	3.0	2か月ぶりプラス
札幌	4.0	0.1	2か月ぶりプラス
仙台	-0.2	0.0	2か月連続マイナス
東京	5.6	1.3	2か月ぶりプラス
横浜	3.7	0.2	2か月ぶりプラス
名古屋	9.5	0.6	2か月ぶりプラス
京都	0.1	0.0	2か月ぶりプラス
大阪	7.8	1.0	10か月連続プラス
神戸	-3.8	-0.1	2か月連続マイナス
広島	-6.0	-0.1	7か月連続マイナス
福岡	0.8	0.0	2か月ぶりプラス
10都市以外の地区	-0.9	-0.3	2か月連続マイナス
北海道	0.9	0.0	2か月ぶりプラス*
東北	-0.3	0.0	2か月連続マイナス*
関東	-0.5	-0.1	2か月連続マイナス
中部	-1.6	0.0	2か月連続マイナス
近畿	0.3	0.0	2か月ぶりプラス
中国	-0.5	0.0	2か月連続マイナス*
四国	-0.8	0.0	2か月連続マイナス
九州	-3.2	-0.2	2か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目では、雑貨が10か月連続、衣料品、身のまわり品、家庭用品、食料品が2か月ぶりのプラスと、全品目が2か月ぶりにプラスとなった。また、美術・宝飾・貴金属が12か月連続、化粧品が6か月連続、その他雑貨、その他家庭用品が3か月連続、生鮮食品が17か月ぶり、紳士服・洋品、婦人服・洋品、子供服・洋品、その他衣料品、家具、菓子、惣菜が2か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	2.7	—	2か月ぶりプラス
紳士服・洋品	4.5	0.2	2か月ぶりプラス
婦人服・洋品	1.3	0.3	2か月ぶりプラス
子供服・洋品	3.3	0.1	2か月ぶりプラス
その他衣料品	0.6	0.0	2か月ぶりプラス
衣料品	1.9	0.6	2か月ぶりプラス
身のまわり品	4.5	0.6	2か月ぶりプラス
化粧品	3.5	0.2	6か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	18.3	0.8	12か月連続プラス*
その他雑貨	5.1	0.2	3か月連続プラス*
雑貨	8.5	1.3	10か月連続プラス
家具	5.8	0.1	2か月ぶりプラス
家電	-9.9	0.0	2か月連続マイナス
その他家庭用品	0.9	0.0	3か月連続プラス
家庭用品	1.6	0.1	2か月ぶりプラス
生鮮食品	0.7	0.0	17か月ぶりプラス*
菓子	0.2	0.0	2か月ぶりプラス*
惣菜	1.1	0.1	2か月ぶりプラス*
その他食料品	-1.2	-0.1	2か月連続マイナス*
食料品	0.1	0.0	2か月ぶりプラス
食堂喫茶	4.1	0.2	10か月連続プラス
サービス	6.2	0.1	2か月ぶりプラス
その他	-3.9	-0.1	2か月ぶりマイナス
商品券	-9.1	-0.3	30か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

平成25年8月 東京地区百貨店売上高概況

平成25年9月20日

I. 概 況

1. 売上高総額	1,041億円余
2. 前年同月比	5.6% (店舗数調整後/2か月ぶりプラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭6.2%(89.0%) : 非店頭0.9%(11.0%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 25店 (平成25年7月対比±0店)
5. 総店舗面積	875,636㎡ (前年同月比:-3.9%)
6. 総従業員数	19,130人 (前年同月比:0.5%)
7. 3か月移動平均値	1-3月 3.2%、2-4月 3.8%、3-5月 4.6%、 4-6月 5.6%、5-7月 4.3%、6-8月 4.4%

[参考] 平成24年8月の売上高増減率は0.2% (店舗数調整後)

【8月売上の特徴】

- (1) 東京地区では、一部を除くほとんどの店舗で入店客数が前年実績をクリアした。夏休みのファミリー企画など各種催事を例年以上に積極展開したことが奏功して、二桁増の入店客数を記録した店も数店あった。
- (2) 衣料品は夏物を中心に7.9%増と、全国水準(+1.9%)を大きく上回る伸びを見せた。具体的には、半袖ワイシャツ、カットソー、ワンピースなどのほか、月の後半からは秋物プロパー商品にも一部動きが見られた。
- (3) 高級時計は依然高い水準でプラス基調を続けている。8月から複数の店舗でワールド・ウォッチ・フェアがスタートしたが、いずれも二桁増を記録している。
- (4) 9.0%増と高い伸びを示した食堂・喫茶については、催事の積極展開による客数増、改装効果による単価向上、ビアガーデンを開設する店舗の増加などが背景にある。
- (5) 9月中旬までの都内の商況は、概ね前年並みの水準で推移しているが、休日が月の後半に偏っていることを勘案すると、最終的には前年実績をクリアする見込みとなっている。

【要 因】

- (1) 営業日数増減 30.6日 (前年同月比±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見ると傾向値/前年同月比/有効回答数19店舗)
 - ①増加した: 12店、②変化なし: 5店、③減少した: 2店
- (3) 8月歳時記(旧暦お盆、夏休み、夏祭り)の売上(同上/有効回答数15店舗)
 - ①増加した: 7店、②変化なし: 7店、③減少した: 1店

NEWS LETTER

東京地区百貨店 売上高速報 2013年08月

※店舗数調整後 ()が調整前

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	104,137,438	100.0	5.6 (4.6)
紳士服・洋品	6,559,853	6.3	12.3 (11.7)
婦人服・洋品	18,428,826	17.7	7.4 (6.1)
子供服・洋品	1,714,105	1.6	5.2 (4.9)
その他衣料品	2,285,030	2.2	1.7 (1.0)
衣 料 品	28,987,814	27.8	7.9 (6.8)
身のまわり品	14,645,075	14.1	6.2 (5.8)
化粧品	6,481,301	6.2	7.5 (7.0)
美術・宝飾・貴金属	7,364,707	7.1	25.2 (24.6)
その他雑貨	5,702,166	5.5	3.1 (2.5)
雑 貨	19,548,174	18.8	12.1 (11.5)
家 具	1,796,720	1.7	4.3 (0.9)
家 電	547,517	0.5	-10.4
その他家庭用品	3,785,501	3.6	4.6 (4.3)
家 庭 用 品	6,129,738	5.9	3.0 (1.8)
生 鮮 食 品	4,493,417	4.3	0.2 (-0.4)
菓 子	7,918,860	7.6	-2.3 (-3.2)
惣 菜	6,322,881	6.1	2.0 (1.1)
その他食料品	7,686,772	7.4	-1.5 (-2.1)
食 料 品	26,421,930	25.4	-0.7 (-1.4)
食 堂 喫 茶	3,612,414	3.5	9.0 (5.9)
サ ー ビ ス	2,333,721	2.2	9.4
そ の 他	2,458,572	2.4	-1.7 (-6.8)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)
※

商 品 券	2,032,878 千円	-21.8 (-22.3)
従 業 員 数	19,130 人	0.5
店 舗 面 積	875,636 m ²	-3.9

営 業 日 数	30.6 日	前年	30.6 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、雑貨が6か月連続、家庭用品が5か月連続、衣料品、身のまわり品が2か月ぶりのプラス。食料品が2か月連続のマイナスとなった。また、化粧品が13か月連続、美術・宝飾・貴金属が8か月連続、その他衣料品が5か月連続、その他家庭用品が4か月連続、その他雑貨が3か月連続、家具が2か月連続のプラス、紳士服・洋品、婦人服・洋品、子供服・洋品、生鮮食品、惣菜が2か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	5.6	—	2か月ぶりプラス
紳士服・洋品	12.3	0.7	2か月ぶりプラス
婦人服・洋品	7.4	1.3	2か月ぶりプラス
子供服・洋品	5.2	0.1	2か月ぶりプラス
その他衣料品	1.7	0.0	5か月連続プラス
衣料品	7.9	2.1	2か月ぶりプラス
身のまわり品	6.2	0.9	2か月ぶりプラス
化粧品	7.5	0.5	13か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	25.2	1.5	8か月連続プラス*
その他雑貨	3.1	0.2	3か月連続プラス*
雑貨	12.1	2.1	6か月連続プラス
家具	4.3	0.1	2か月連続プラス
家電	-10.4	-0.1	2か月連続マイナス
その他家庭用品	4.6	0.2	4か月連続プラス
家庭用品	3.0	0.2	5か月連続プラス
生鮮食品	0.2	0.0	2か月ぶりプラス*
菓子	-2.3	-0.2	5か月連続マイナス*
惣菜	2.0	0.1	2か月ぶりプラス*
その他食料品	-1.5	-0.1	2か月連続マイナス*
食料品	-0.7	-0.2	2か月連続マイナス
食堂喫茶	9.0	0.3	10か月連続プラス
サービス	9.4	0.2	5か月ぶりプラス
その他	-1.7	0.0	4か月ぶりマイナス
商品券	-21.8	-0.6	28か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>